

【別添資料 4】

リーフレット等イメージ

(調整中)

内 容

- ・事業主向けリーフレットイメージ
- ・被保険者向けリーフレットイメージ
- ・被保険者向けポスターイメージ
- ・船舶所有者向けリーフレットイメージ
- ・被保険者向けリーフレットイメージ
- ・被保険者向けポスターイメージ

平成27年**10月**
から

医療保険の マイナンバー（個人番号）対応 をお願いします



平成28年1月からマイナンバー制度（社会保障・税番号制度）が開始され、協会けんぽでは、各種手続きにおいてマイナンバーを利用して事務を行うことになります。

事業主の皆様には、協会けんぽ（年金機構）に提出する各種届出書等に被保険者や被扶養者（被保険者等）のマイナンバーを記入して頂くことになります。被保険者からマイナンバーを取得し、協会けんぽに提出をお願いします。

1 なぜ、事業主がマイナンバーを取得する必要があるのですか？事業主がマイナンバーを扱っていいのですか？

マイナンバーは、番号法で規定された行政事務において利用されることになっており、医療保険も対象となっています。今後、厚生労働省関係省令改正により、各種手続きで従業員やご家族など被保険者等のマイナンバーが必要となります。

事業主は、従業員やご家族などのマイナンバーが書かれた書面の提出等の事務を行うため、その事務の範囲内でマイナンバーを取り扱うことができます。マイナンバーはプライバシーなどの関係で取り扱うことができる方は、制度上、各種手続きを行う者（協会けんぽ、年金機構などの「個人番号利用事務実施者」）や、これらの手続きを取次ぐ者（事業主や金融機関などの「個人番号関係事務実施者」）に限定されています。

2 マイナンバーは医療保険以外に使いますか？

事業主の方は、法令に基づいて、従業員等の方々のマイナンバーを健康保険に関連する事務以外に、年金や雇用保険、労災保険等の各種社会保険や年末調整等の税の事務にも利用することができます。

※番号法別表第一に基づく主務省令（平成26年内閣府総務省令第5号）

マイナンバーは制度上、個人情報の中でも特殊なものとして位置付けられていますので、従業員等の方々から最初にマイナンバーの提示を受ける際に、利用する事務などを全て具体的に示すことで、それぞれの事務に利用することができます。

（5「マイナンバーを取り扱う上での注意事項」をご覧ください）

3

どのようにマイナンバーを取得し、提出しますか？

■マイナンバーの取得と提出

マイナンバーを取得する対象は、**平成29年1月1日時点の被保険者、被扶養者及びその後の新規加入者**が予定されています。（※1）

新規加入者は、個人番号欄がある新様式を用いてマイナンバーをご提出ください。既存の被保険者等については、マイナンバーの提出方法や時期は調整中となります。

協会けんぽでは、平成29年7月の情報連携の開始までに、ご提供いただいたマイナンバーの登録と特定個人情報の登録を終える必要があります。**対象者のマイナンバーの提出は、遅くとも平成29年3月末までとする予定です。**（※3）

■マイナンバー取得時の本人確認

マイナンバーを取得する際、原則として「番号確認」と「身元確認」（まとめて「本人確認措置」といいます）が必要になります。番号確認のため、通知カードや個人番号カード、マイナンバーが記載された住民票の提示（郵送の場合は写し）を受けてください。

※雇用関係等で明らかに本人であることが担保できると認める場合は、身元確認は必要ありません。被扶養者についての身元確認は、被保険者が実施しているという観点で行う必要はありません。

※本人確認方法の詳細は、同封した資料「本人確認の措置」を参考にしてください。

（担当者の方へ）

番号制度導入の手引きの付録6をご活用ください

■被保険者への依頼について

マイナンバーは、平成27年10月以降、国民一人ひとりに郵送される「通知カード」に記載されています。被保険者にマイナンバーの提供を依頼する際は、通知カードを見て記載するよう依頼してください。通知カードのほか、平成28年1月以降、個人番号カードも希望により交付を受けることができます。このカードにもマイナンバーが記載されます。さらに、希望すれば、マイナンバーが記載された住民票が交付されます。

※被保険者証にはマイナンバーは記載されません

※被保険者への依頼時にお使いいただけるリーフレットをご提供します

通知カードのイメージ

個人番号 ○○○…○○○

生年月日 ○年□月△日

性別 女

氏 名 番号花子

住 所 △県○市□町1-1-1

4 マイナンバーは、いつから使用しますか？

健康保険法施行規則などの厚生労働省関係省令について、各種申請書・届出書等の様式や申請事項等にマイナンバーを追加するなど「の改正を行う予定です。これにより、資格管理、給付金等の各種申請・届出等の様式が改正され、マイナンバーが記載事項になります。

平成29年1月以降、協会けんぽ（年金機構）に各種届出を提出して頂く際に、被保険者等のマイナンバーの記入をお願いします。

マイナンバーを記載事項に追加する様式の一例

- 被保険者資格取得の届出
- 被保険者資格喪失の届出
- 被扶養者の届出
- 住所変更の届出
- 療養費の支給の申請
- 傷病手当金の支給の申請
- 出産一時金の支給の申請
- 限度額適用認定の申請等

等

※平成27年1月時点の厚生労働省省令改正（案）に基づく

5 マイナンバーを取り扱う上での注意事項

マイナンバーをその内容に含む個人情報は「特定個人情報」とされ、個人情報保護法が適用になります。事業主がマイナンバーを取得するにあたっては、利用目的を本人に通知又は公表しなければなりません。

マイナンバーを取得する時には、健康保険に関する個人番号関係事務において利用することを明示してください。マイナンバーは、健康保険のほか、法令に基づき、給与所得の源泉徴収票、支払調書、厚生年金保険被保険者資格取得届等の書類にも記載が必要になるものです。特定の事務のために提供を受けたマイナンバーを、他の事務に利用することが想定される場合は、あらかじめ複数の利用目的を包括的に明示して取得、利用してください。

マイナンバーは、本人の同意があっても法定された場合以外に使用、提供することが禁止されている等、個人情報よりも厳格な取扱いが必要な「特定個人情報」となります。また、漏えい、滅失又は毀損の防止等の安全管理措置を実施する必要もあります。

特定個人情報保護委員会「特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（事業者編）」に従って、適正な取扱いを行ってください。

6 マイナンバー制度とは？

- 複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤（インフラ）です。
- マイナンバー制度の導入により、協会けんぽは、①マイナンバーが記載された申請書・届出書等の提出を受けて、被保険者等のマイナンバーを取得し、②情報提供ネットワークシステムを通じて、情報照会・情報提供（情報連携）を行います。これにより、その対象となる手続で添付書類の省略ができるようになります。

7 詳しい情報はどこで入手できますか？

- 社会保障分野へのマイナンバー制度導入に関する事業主向けリーフレットと説明資料は、厚生労働省
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000063273.html>
- マイナンバー制度については、内閣官房
<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>
※「事業者向けマイナンバー広報資料」をご参照ください
- 特定個人情報の取り扱い等については、特定個人情報保護委員会
<http://www.ppc.go.jp/index.html>
※「特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（事業者編）」をご参照ください

問い合わせ先

（担当者の方へ）
問い合わせ先をご記載ください



平成27年10月から

あなたに「マイナンバー（個人番号）」が届きます

平成28年1月から番号制度が始まります。そこで、平成27年10月から順次、「通知カード」がお住まいの市区町村から郵送され、国民一人ひとりに固有のマイナンバー（個人番号）があなたに通知されます。



今後、各種の健康保険の手続きのとき、マイナンバーを記入することになります。届いた通知カードは大切に保管しておいて下さい。

通知カードのイメージ

個人番号 ○○○……○○○

生年月日 ○年□月△日

性別 女

氏 名 番号花子

住 所 △県○市□町1-1-1

健康保険や
年金、税金、雇用保険等
の手続きで必要になります

1 マイナンバーは今後どう使うの？

平成29年1月から、健康保険の各種申請書や届出書等にマイナンバーを記入する必要があります。また、マイナンバーは健康保険だけでなく、年金や雇用保険、税金等、番号法やその他の法律、条令で定められた手続きで、共通で使うことになります。

※健康保険以外の開始時期は制度によって異なります

通知カードは、これらの手続きでマイナンバーを記載する際、ご自分の番号を確かめるためにお使いください。また、手続きをする窓口等でマイナンバーを確認するために通知カードの提示が求められますので、手続きの際は必ずお持ちください。郵送の場合は写しを提出する必要があります。

※通知カードのほか、平成28年1月以降、個人番号カードも希望により交付を受けることができます。このカードにもマイナンバーが記載されます。さらに、希望すれば、マイナンバーが記載された住民票が交付されます

※被保険者証にはマイナンバーは記載されていません

2 平成29年1月から 個人番号欄にあなたのマイナンバーを記入してください

平成29年1月から、被保険者資格取得・喪失の届出、被扶養者の届出、住所変更の届出、療養費の支給の申請、傷病手当金の支給の申請、出産一時金の支給の申請、限度額適用認定の申請等の様式に個人番号欄が設けられます。

※平成27年1月時点の厚生労働省省令改正（案）に基づく

マイナンバーは皆さまの手続きを確実にかつ早期に進めるために必要な事項ですので、ご自分のマイナンバーを必ず記入して下さい。

変更前

変更後

(担当者の方へ)
お使いになる書式イメージを
挿入してください

通知カード

個人番号 ○○○・・・・○○○

生年月日 ○年□月△日

性別 女

氏 名 番号花子

住 所 △県○市□町1-1-1

※通知カードのほか、個人番号カードや住民票でも確認できます

3 番号制度とは？

社会保障・税番号制度（内閣官房）のホームページをご覧ください。
ホームページ内にあるFAQ（よくある質問）もご活用ください。

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

問い合わせ先

(担当者の方へ)
問い合わせ先をご記載ください



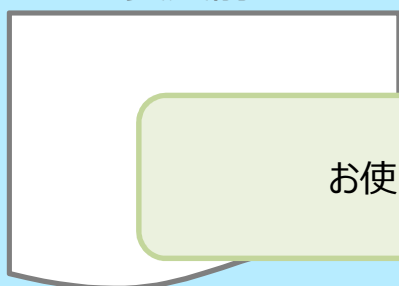
平成29年1月から



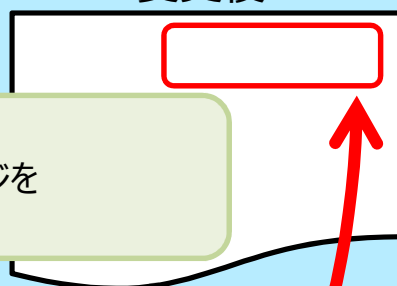
健康保険の手続きにおいて マイナンバー（個人番号）の記入 が必要になります

番号制度の導入により、平成29年1月から様式が変わります。
個人番号欄がある申請書・届出書等（※）に、あなたのマイナンバーを
記入してください。

変更前



変更後



（担当者の方へ）
お使いになる書式イメージを
挿入してください

ご自身のマイナンバーは
「通知カード」や「個人番号カード」、
「住民票」で確認して、ご記入下さい

※被保険者証には記載されていません

通知カード

個人番号 ○○○・・・・○○○

生年月日 ○年□月△日

性別 女

氏 名 番号花子

住 所 △県○市□町1-1-1

※通知カードは平成27年10月から、被保険者一人ひとりに市区町村から送付されています。

※被保険者資格取得・喪失の届出、被扶養者の届出、住所変更の届出、療養費の支給の申請、傷病手当金の支給の申請、出産一時金の支給の申請、限度額適用認定の申請等 等
（平成27年1月時点の厚生労働省省令改正（案）に基づく。詳しくは、全国健康保険協会にお問い合わせください）

全国健康保険協会（協会けんぽ）

平成27年**10月**
から

医療保険の マイナンバー（個人番号）対応 をお願いします



平成28年1月からマイナンバー制度（社会保障・税番号制度）が開始され、協会けんぽでは、各種手続きにおいてマイナンバーを利用して事務を行うことになります。

船舶所有者には、協会けんぽ（年金機構）に提出する各種届出書等に被保険者や被扶養者（被保険者等）のマイナンバーを記入して頂くことになります。被保険者からマイナンバーを取得し、協会けんぽに提出をお願いします。

1 なぜ船舶所有者がマイナンバーを取得する必要があるのですか？船舶所有者がマイナンバーを扱っていいのですか？

マイナンバーは、番号法で規定された行政事務において利用されることになっており、医療保険も対象となっています。今後、厚生労働省関係省令改正により、各種手続きで船員やご家族など被保険者等のマイナンバーが必要となります。

船舶所有者は、船員やご家族などのマイナンバーが書かれた書面の提出等の事務を行うため、その事務の範囲内でマイナンバーを取り扱うことができます。マイナンバーはプライバシーなどの関係で取り扱うことができる方は、制度上、各種手続きを行う者（協会けんぽ、年金機構などの「個人番号利用事務実施者」）や、これらの手続きを取次ぐ者（船舶所有者や事業主、金融機関などの「個人番号関係事務実施者」）に限定されています。

2 マイナンバーは医療保険以外に使いますか？

船舶所有者の方は、法令に基づいて、船員等の方々のマイナンバーを船員保険に関連する事務以外に、年金や雇用保険、労災保険等の各種社会保険や年末調整等の税の事務にも利用することができます。

※番号法別表第一に基づく主務省令（平成26年内閣府総務省令第5号）

マイナンバーは制度上、個人情報の中でも特殊なものとして位置付けられていますので、船員等の方々から最初にマイナンバーの提示を受ける際に、利用する事務などを全て具体的に示すことで、それぞれの事務に利用することができます。

（5「マイナンバーを取り扱う上での注意事項」をご覧ください）

3

どのようにマイナンバーを取得し、提出しますか？

■マイナンバーの取得と提出

マイナンバーを取得する対象は、**平成29年1月1日時点の被保険者、被扶養者及びその後の新規加入者**が予定されています。

新規加入者は、個人番号欄がある新様式を用いてマイナンバーをご提出ください。既存の被保険者等については、マイナンバーの提出方法や時期は調整中となります。

協会けんぽでは、平成29年7月の情報連携の開始までに、ご提供いただいたマイナンバーの登録と特定個人情報の登録を終える必要があります。**対象者のマイナンバーの提出は、遅くとも平成29年3月末までとする予定です。**

■マイナンバー取得時の本人確認

マイナンバーを取得する際、原則として「番号確認」と「身元確認」（まとめて「本人確認措置」といいます）が必要になります。番号確認のため、通知カードや個人番号カード、マイナンバーが記載された住民票の提示（郵送の場合は写し）を受けてください。

※雇用関係等で明らかに本人であることが担保できると認める場合は、身元確認は必要ありません。被扶養者についての身元確認は、被保険者が実施しているという観点で行う必要はありません。

※本人確認方法の詳細は、同封した資料「本人確認の措置」を参考にしてください。

（担当者の方へ）

番号制度導入の手引きの付録6をご活用ください

■被保険者への依頼について

マイナンバーは、平成27年10月以降、国民一人ひとりに郵送される「通知カード」に記載されています。被保険者にマイナンバーの提供を依頼する際は、通知カードを見て記載するよう依頼してください。通知カードのほか、平成28年1月以降、個人番号カードも希望により交付を受けることができます。このカードにもマイナンバーが記載されます。さらに、希望すれば、マイナンバーが記載された住民票が交付されます。

※被保険者証にはマイナンバーは記載されません

※被保険者への依頼時にお使いいただけるリーフレットをご提供します

通知カードのイメージ

個人番号 ○○○・・・・○○○

生年月日 ○年□月△日

性別 女

氏 名 番号花子

住 所 △県○市□町1-1-1

4 マイナンバーは、いつから使用しますか？

船員保険法施行規則などの厚生労働省関係省令について、各種申請書・届出書等の様式や申請事項等にマイナンバーを追加するなどの改正を行う予定です。これにより、資格管理、給付金等の各種申請・届出等の様式が改正され、マイナンバーが記載事項になります。

平成29年1月以降、協会けんぽ（年金機構）に各種届出を提出して頂く際に、被保険者等のマイナンバーの記入をお願いします。

マイナンバーを記載事項に追加する様式の一例

- 被保険者資格に係る届出
 - 資格喪失に係る届出
 - 被扶養者届
 - 被保険者の住所変更に関する届出
 - 療養費の支給の申請
 - 傷病手当金の支給の申請
 - 出産一時金の支給の申請
 - 限度額適用認定の申請等
- 等

※平成27年1月時点の厚生労働省省令改正（案）に基づく

5 マイナンバーを取り扱う上での注意事項

マイナンバーをその内容に含む個人情報は「特定個人情報」とされ、個人情報保護法が適用になります。船舶所有者がマイナンバーを取得するにあたっては、利用目的を本人に通知又は公表しなければなりません。

マイナンバーを取得する時には、船員保険に関する個人番号関係事務において利用することを明示してください。マイナンバーは、船員保険のほか、法令に基づき、給与所得の源泉徴収票、支払調書、厚生年金保険被保険者資格取得届等の書類にも記載が必要になるものです。特定の事務のために提供を受けたマイナンバーを、他の事務に利用することが想定される場合は、あらかじめ複数の利用目的を包括的に明示して取得、利用してください。

マイナンバーは、本人の同意があっても法定された場合以外に使用、提供することが禁止されている等、個人情報よりも厳格な取扱いが必要な「特定個人情報」となります。また、漏えい、滅失又は毀損の防止等の安全管理措置を実施する必要があります。

特定個人情報保護委員会「特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（事業者編）」に従って、適正な取扱いを行ってください。

6 マイナンバー制度とは？

- 複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤（インフラ）です。
- マイナンバー制度の導入により、協会けんぽは、①マイナンバーが記載された申請書・届出書等の提出を受けて、被保険者等のマイナンバーを取得し、②情報提供ネットワークシステムを通じて、情報照会・情報提供（情報連携）を行います。これにより、その対象となる手続で添付書類の省略ができるようになります。

7 詳しい情報はどこで入手できますか？

- 社会保障分野へのマイナンバー制度導入に関する事業主向けリーフレットと説明資料は、厚生労働省
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000063273.html>
- マイナンバー制度については、内閣官房
<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>
※「事業者向けマイナンバー広報資料」をご参照ください
- 特定個人情報の取り扱い等については、特定個人情報保護委員会
<http://www.ppc.go.jp/index.html>
※「特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（事業者編）」をご参照ください

問い合わせ先

（担当者の方へ）
問い合わせ先をご記載ください



＜調整中の事項について＞

※1

平成29年7月の情報連携開始に向けて、保険者のマイナンバーの取得等の事務やシステム改修にかかる期間等を考慮し、厚生労働省において、平成28年1月1日時点(案1)とするか平成29年1月1日時点(案2)とするかで調整中です。

※2

案1の場合、平成28年12月までの法令様式が改正されていない時期の対応が必要になります。現時点では以下の2つの方法が厚生労働省で検討されています。

- ・喪失者、一括取得後の新規加入者については、別途臨時に様式を作成して船舶所有者から協会けんぽ(年金機構)に提出して頂く

- ・喪失者、一括取得後の新規加入者については、船舶所有者においてマイナンバーを取得しておいていただき、平成29年1月以降に提出して頂く

いずれの場合も、協会けんぽ(年金機構)に提出する各種届出書等にマイナンバーを記載して随時ご提出いただく方法と、ファイル等でまとめてご提出いただく方法が考えられます。

案2の場合、法令様式の改正後になるため、平成28年1月以降、協会けんぽ(年金機構)に提出する各種届出書等にマイナンバーを記載して随時ご提出いただく方法と、ファイル等でまとめてご提出いただく方法が考えられます。

※3

機関別符号の生成や取得をまとめて行う機関(地方公共団体情報システム機構や取りまとめ機関)での対応負荷を踏まえ、案1の場合は平成29年2月中旬まで、案2の場合は平成29年3月末までとする予定です。

平成27年10月から

あなたに「マイナンバー（個人番号）」が届きます

平成28年1月から番号制度が始まります。そこで、平成27年10月から順次、「通知カード」がお住まいの市区町村から郵送され、国民一人ひとりに固有のマイナンバー（個人番号）があなたに通知されます。

今後、各種の船員保険の手続きのとき、マイナンバーを記入することになります。届いた通知カードは大切に保管しておいて下さい。



通知カードのイメージ

個人番号 ○○○……○○○

生年月日 ○年□月△日

性別 女

氏 名 番号花子

住 所 △県○市□町1-1-1

船員保険や
年金、税金、雇用保険等
の手続きで必要になります

1 マイナンバーは今後どう使うの？

平成29年1月から、船員保険の各種申請書や届出書等にマイナンバーを記入する必要があります。また、マイナンバーは船員保険だけでなく、年金や雇用保険、税金等、番号法やその他の法律、条令で定められた手続きで、共通で使うことになります。

※船員保険以外の開始時期は制度によって異なります

通知カードは、これらの手続きでマイナンバーを記載する際、ご自分の番号を確かめるためにお使いください。また、手続きをする窓口等でマイナンバーを確認するために通知カードの提示が求められますので、手続きの際は必ずお持ちください。郵送の場合は写しを提出する必要があります。

※通知カードのほか、平成28年1月以降、個人番号カードも希望により交付を受けることができます。このカードにもマイナンバーが記載されます。さらに、希望すれば、マイナンバーが記載された住民票が交付されます

※被保険者証にはマイナンバーは記載されていません

2 平成29年1月から 個人番号欄にあなたのマイナンバーを記入してください

平成29年1月から、被保険者資格に係る届出、資格喪失に係る届出、被扶養者届、被保険者の住所変更に関する届出、療養費の支給の申請、傷病手当金の支給の申請、出産一時金の支給の申請、限度額適用認定の申請等の様式に個人番号欄が設けられます。

※平成27年1月時点の厚生労働省省令改正（案）に基づく

マイナンバーは皆さまの手続きを確実にかつ早期に進めるために必要な事項ですので、ご自分のマイナンバーを必ず記入して下さい。

変更前

変更後

(担当者の方へ)
お使いになる書式イメージを
挿入してください

通知カード

個人番号	〇〇〇・・・・〇〇〇
生年月日	〇年□月△日
性別	女
氏名	番号花子
住所	△県〇市□町1-1-1

※通知カードのほか、個人番号カードや住民票でも確認できます

3 番号制度とは？

社会保障・税番号制度（内閣官房）のホームページをご覧ください。

ホームページ内にあるFAQ（よくある質問）もご活用ください。

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

問い合わせ先

(担当者の方へ)
問い合わせ先をご記載ください



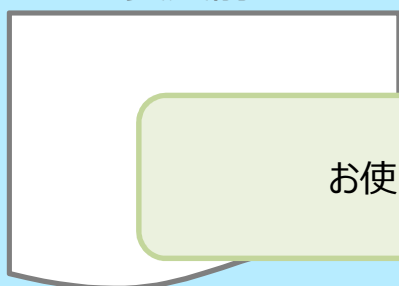
平成29年1月から



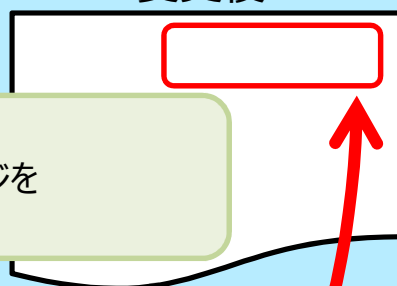
船員保険の手続きにおいて マイナンバー（個人番号）の記入 が必要になります

番号制度の導入により、平成29年1月から様式が変わります。
個人番号欄がある申請書・届出書等（※）に、あなたのマイナンバーを
記入してください。

変更前



変更後



（協会けんぽ様）
お使いになる書式イメージを
挿入してください

ご自身のマイナンバーは
「通知カード」や「個人番号カード」、
「住民票」で確認して、ご記入下さい

※被保険者証には記載されていません

通知カード

個人番号 ○○○・・・・○○○

生年月日 ○年□月△日

性別 女

氏 名 番号花子

住 所 △県○市□町1-1-1

※通知カードは平成27年10月から、被保険者一人ひとりに市区町村から送付されています。

※被保険者資格に係る届出、資格喪失に係る届出、被扶養者届、被保険者の住所変更に関する届出、療養費の支給の申請、傷病手当金の支給の申請、出産一時金の支給の申請、限度額適用認定の申請等 等 （平成27年1月5日現在の厚生労働省省令改正（案）に基づく。詳しくは、全国健康保険協会にお問い合わせください）

全国健康保険協会（協会けんぽ）